

2026年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を表明 ——皆さんの声を踏まえ、総合的に判断しました



札幌市長 上田 文雄

1972年に札幌で開催されたアジア初の冬季オリンピックは、都市の国際化に貢献するとともに、地下鉄や道路網などの都市基盤の整備を加速させるなど、街を大きく変えました。そして、世界の人たちと共に札幌を盛り上げた経験が、街への愛着心を育み、今でも市民の誇りとなっています。

あれから40年余りが経過し、再び冬季オリンピック・パラリンピックを開催することは、子どもたちに夢と希望を与え、都市基盤や冬季スポーツ施設の更新、バリアフリー化の促進といった街のリニューアルを推し進めるほか、札幌・北海道ひいては日本全体の活性化につながるという効果が期待されます。

さらに、札幌が今後待ち受ける人口減少・超高齢社会への対応など、幾多の困難を克服していく誇り高き市民力を育成し、札幌・北海道の未来を切り開いていくこととなります。冬季オリンピック・パラリンピックの開催は、時代の転換期を乗り越え、札幌の未来を創り上げていくために、多くの市民が夢

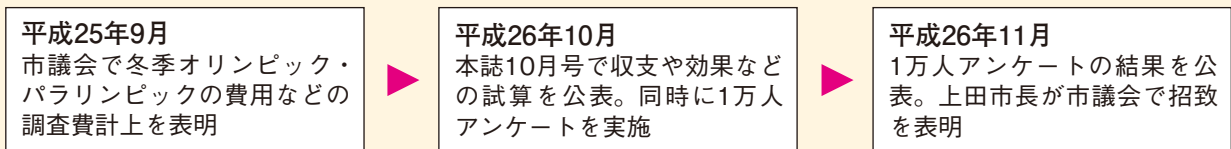
を共有し、目標に向かって市民力を結集させるための、この上ない機会であると信じています。

招致から開催までの取り組みは、市民・企業・行政が一体となる「まちづくり運動」そのものです。これを成し遂げることで、成熟都市としての都市ブランドと市民の誇りを醸成し、街を新たなステージへと押し上げ、札幌の未来に通じる「鍛え抜かれた市民力」を築くことができると確信しています。

これまでの市民の皆さんや経済界の意見、さらには市議会の決議を踏まえると、冬季オリンピック・パラリンピック開催の夢に向けて進もうとする市民の機運は醸成されたものと判断し、招致を行うべきとの結論に至りました。

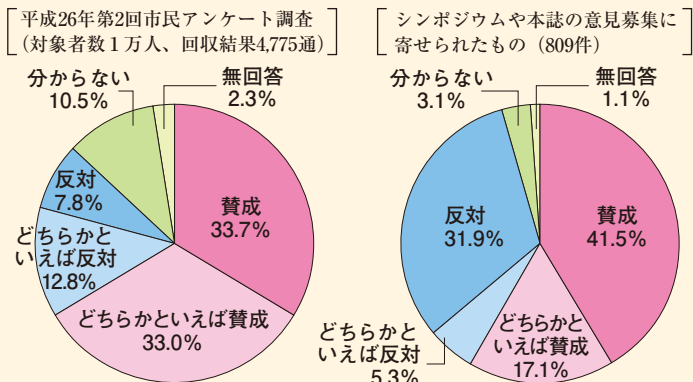
オリンピック・パラリンピックは国家的事業であり、立候補の可否については、日本オリンピック委員会の判断となります。今後、各競技団体とも連携し、市民の皆さんと共に夢の実現を目指して取り組んでまいります。何とぞご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

招致をめぐる主な動き



札幌市がオリンピックの開催地に立候補することについて

札幌市が冬季オリンピック・パラリンピックを招致することを、あなたはどのように思いますか。



●自由記載の主な意見
(市民アンケートのほか、シンポジウムや本誌での意見募集に寄せられたもの)

- 賛成**
 - 「観光都市として世界にPRできる」
 - 「雇用創出や経済効果が期待できる」
 - 「子どもたちに夢と希望を与える」
- 反対**
 - 「開催費用などの財政面が不安」
 - 「福祉や教育などほかの施策に使うべき」
 - 「スポーツ施設の整備や後利用の方法が心配」

市民アンケートなどの結果はホームページでご覧になれます

札幌 オリンピック調査結果 [検索](#)